

アイヌタイムズ 第35号 日本語版

★ ハワイ語で書かれた本

この前、ハワイ語の本を読むと、コロポックルの話がありました。

「古い時代に、日本に、ここハワイのメネフネと同じく小さな人々が住んでいました。その人たちは、アイヌ語でコロポックルという名の人たちです。

『コロポックル』の意味はアイヌ語で『小さい人たち』という意味です。

[註：しかし、コロポックルは『フキの下にいる人』であると読めます]

彼らは北海道という島にだけ住んでいました。日本語でフキと呼ばれるもの(コロコ

ニ)の下に住んでいたのです。フキの葉は傘のようなもので、とても大きいものだと思います。その人たちはアイヌの人たちの手助けをしたがるのです。そのため、アイヌの人たちは、感謝しながら、眠る前にフキの上においしいものを置きました。」

と書かれています。グリム童話「小人のくつ屋」と似たような話だと思われる所もあります。アイヌの昔話は少し違います。私が知っているのは以下の通りです；「コロポックルは隠れて人間の家に魚を置いていくのですが、ある日人間に手を捕まれて姿を見られたので、怒り去ってしまいました」という話のようなものです。

[横山 裕之] 沙流・千歳

アイヌタイムズ 第35号日本語版(季刊)

発行所 アイヌ語ペンクラブ
〒055-0101 沙流郡平取町二風谷80-25
萱野 志朗 気付
発行責任者 野本 久栄
編集責任者 浜田 隆史
<http://www.geocities.jp/otarusay/taimuzu.html>

◆ アイヌタイムズ日本語版は、基本的には原稿執筆者の日本語原文をそのまま表しています。ただし、原稿検討の際、より適切な言葉に言い換えたり、文の順序を替えていたりすることもあるため、原文のままだと大きな支障がある所に限って、編集で直した部分もあります。 [編]